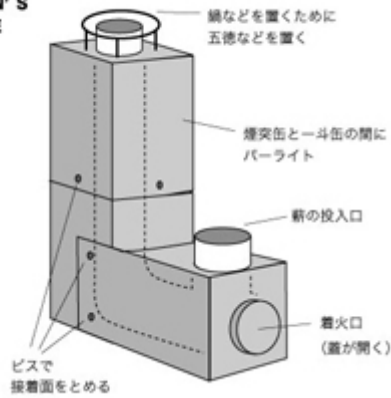


ロケットストーブの作り方

NOU LIFE TOWN'S
ROCKET STOVE

Produced by
Shinsuke Inoue



一斗缶ロケットストーブは、一斗缶を使って簡単に作れるストーブのこと。
熱効率が良く、少ない燃料で500-600度まで上げられる優れもの！
間伐材や廃材、木くずや竹など燃やすすものを選ばないのも特徴。

<材料費>

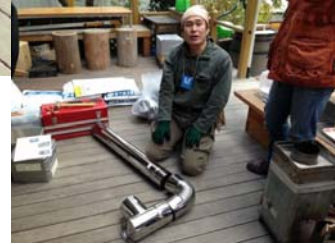
パーライト2袋(498円×2)
一斗缶3個(150円×3)
煙突管(T字)1080円

<制作時間>

3時間



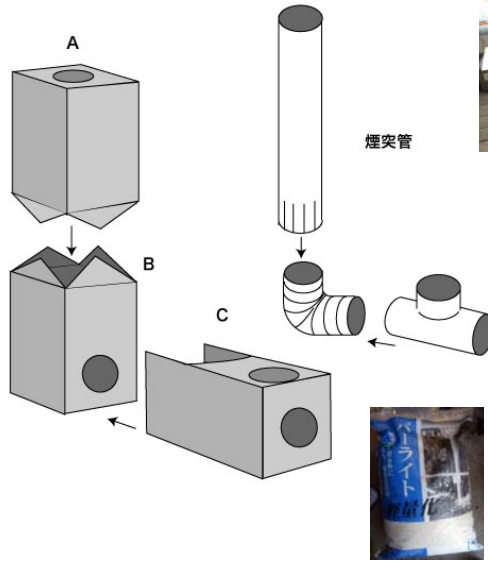
煙突
※直径 120mm
サイズを使用



一斗缶AとBとの噛み
合わせを確認。



一斗缶BとCとの噛み合
わせを確認。



こちらがホームセンターで入手可能なパーライト(園芸、造園に使用する黒曜石。)

これを一斗缶と煙突の間に入れることによって断熱効果が生まれ、外界と煙突内の温度差がとても高くなり、煙突内で上昇気流現象が起こり、ロケットのように薪の火が煙突内で燃え上がっていく仕組みです。

まず一斗缶AとBを接着し中に煙突(直線型とL字)をはめこんだ後に中にパーライトを流し込みます。
その後にT字煙突を接続して、最後の一斗缶Cをはめ込んで、一斗缶C内にパーライトを流し込むという順序が良さそうです。
今回は薪の投入口を強化するために缶つめの缶を外側に取り付けて2重構造にしています。
大きな鍋でもこのように手軽に効率よく調理をすることができます！

